

令和3年度の入札・契約制度について

■主な入札・契約制度の概要

項目	説明
制限付き一般競争入札の対象範囲	<ul style="list-style-type: none">● 制限付き一般競争入札で執行する建設工事については、設計金額が2,000万円以上の工事。なお、ガス水道本支管工事については、設計金額が130万円超は制限付き一般競争入札で執行。
入札時における工事費内訳書の提出	<ul style="list-style-type: none">● すべての建設工事の入札時において入札金額に対する内訳書の提出を求める。なお、ガス水道本支管工事については、入札金額に対する内訳書として各明細書までの提出を義務付ける。<ul style="list-style-type: none">・対象：予定価格130万円超の建設工事・内訳書：指定様式（入札通知書等に記載） （ガス水道本支管工事については、<u>上記の指定様式の内訳書と任意様式の各明細書</u>）・事務手続き等①入札参加者は、局指定様式の内訳書及びガス水道本支管工事については任意様式の各明細書までを作成し、電子入札で入札金額を入力する際、内訳書及び各明細書を添付して送信する。（再入札の場合は、内訳書の添付不要）②局は、開札後に落札決定を保留とし、内訳書を確認する。内訳書の記載不備等、入札公告又は指名通知書に示す無効要件に該当する場合、当該入札参加者の入札を無効とする。
社会保険等の加入促進に向けた取組	<ul style="list-style-type: none">● 予定価格が130万円を超える工事において、元請業者に提出義務がある「施工体制台帳」の「健康保険等の加入状況」欄に記載されている健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入状況を確認する。● 社会保険等の未加入が確認された場合は、元請業者に対して、当該下請業者への社会保険等加入指導を要請する。なお、要請後、一定期間が経過しても社会保険等の加入が確認できない場合は、発注者から建設業許可機関等に未加入情報を通知する。● 予定価格が130万円を超える工事において、社会保険等未加入業者を下請次数に係わらず下請契約の相手方としない。

項目	説明																														
<p>週休2日取得モデル工事【試行】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 週休2日取得モデル工事の試行対象案件となった場合、上越市ガス水道局「週休2日取得モデル」実施要領に基づき、工事設計書の労務費等における補正加算を行う。 <p>対象工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越市ガス水道局「週休2日取得モデル」実施要領【土木工事】に定める土木工事 ・上越市ガス水道局「週休2日取得モデル」実施要領【営繕工事】に定める営繕工事 <p>※ <u>予定価格の算出時は、労務費等に補正係数を乗じないこととし、工事現場が週休2日を達成した場合に労務費等に対する補正を行います。（市長部局とは取扱いが異なりますのでご注意ください。）</u></p>																														
<p>ガス水道本支管工事の入札区分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 入札案件ごとの工事規模及び施工難易度に応じた事業者の格付け区分を設定する。なお、工事品質の確保のため、工事を施工するうえで必要な資格要件等を付した時は、下記入札区分での運用によらない場合がある。 <p>・入札区分【ガス工事を含む本支管工事】</p> <table border="1" data-bbox="507 891 1439 1232"> <thead> <tr> <th>設計金額</th> <th>土木一式工事格付け</th> <th>管工事格付け</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,000万円以上 1億円未満</td> <td>A・B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>2,500万円以上5,000万円未満 ※1</td> <td>A・B・C</td> <td>A・B</td> </tr> <tr> <td>1,000万円以上2,500万円未満</td> <td>A・B・C・D・無</td> <td>A・B・無</td> </tr> <tr> <td>130万円超 1,000万円未満 ※2</td> <td>A・B・C・D・無</td> <td>A・B・無</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 「土木一式工事格付けC＋管工事格付けB」を除く ※2 「土木一式工事格付けA＋管工事格付けA」を除く</p> <p>・入札区分【水道工事のみの本支管工事】</p> <table border="1" data-bbox="507 1429 1439 1769"> <thead> <tr> <th>設計金額</th> <th>土木一式工事格付け</th> <th>管工事格付け</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,000万円以上 1億円未満</td> <td>A・B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>2,500万円以上5,000万円未満 ※1</td> <td>A・B・C</td> <td>A・B</td> </tr> <tr> <td>1,000万円以上2,500万円未満</td> <td>A・B・C・D・無</td> <td>A・B・無</td> </tr> <tr> <td>130万円超 1,000万円未満 ※2</td> <td>A・B・C・D・無</td> <td>A・B・無</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 「土木一式工事格付けC＋管工事格付けB」を除く ※2 「土木一式工事格付けA＋管工事格付けA」及び「土木一式工事格付けB＋管工事格付けA」を除く</p>	設計金額	土木一式工事格付け	管工事格付け	5,000万円以上 1億円未満	A・B	A	2,500万円以上5,000万円未満 ※1	A・B・C	A・B	1,000万円以上2,500万円未満	A・B・C・D・無	A・B・無	130万円超 1,000万円未満 ※2	A・B・C・D・無	A・B・無	設計金額	土木一式工事格付け	管工事格付け	5,000万円以上 1億円未満	A・B	A	2,500万円以上5,000万円未満 ※1	A・B・C	A・B	1,000万円以上2,500万円未満	A・B・C・D・無	A・B・無	130万円超 1,000万円未満 ※2	A・B・C・D・無	A・B・無
設計金額	土木一式工事格付け	管工事格付け																													
5,000万円以上 1億円未満	A・B	A																													
2,500万円以上5,000万円未満 ※1	A・B・C	A・B																													
1,000万円以上2,500万円未満	A・B・C・D・無	A・B・無																													
130万円超 1,000万円未満 ※2	A・B・C・D・無	A・B・無																													
設計金額	土木一式工事格付け	管工事格付け																													
5,000万円以上 1億円未満	A・B	A																													
2,500万円以上5,000万円未満 ※1	A・B・C	A・B																													
1,000万円以上2,500万円未満	A・B・C・D・無	A・B・無																													
130万円超 1,000万円未満 ※2	A・B・C・D・無	A・B・無																													
<p>ガス水道本支管工事の自社施工について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 元請業者の災害対応能力及び施工能力の維持、向上並びに下請負による工事の品質低下を防ぐため、ガス水道本支管工事における土木工事又は配管工事のいずれかについては、原則として自社で施工すること。 																														

項目	説明																																			
ガス水道本支管工事 の入札における 1 抜け方式の実施	<p>● 概要</p> <p>受注機会の拡大を図るため、次の条件すべてに当てはまるガス水道本支管工事の入札を実施する場合、1 度落札候補者となった業者が次の入札に参加できない「1 抜け方式」による入札を実施する。</p> <p>①入札方法が同じ（制限付き一般競争入札） ②工種、又は業務内容が同じ（ガス水道本支管工事） ③同日に行う入札</p> <p>対象となる入札については、工事ごとの入札公告によりあらかじめ周知する。</p> <p>ガス水道本支管工事については、1 抜け方式の適用対象を、「同一開札日における『①予定価格1,000万円以上1億円未満』及び『②予定価格130万円超1,000万円未満』」^{注1}の2分類とする。</p> <p>注1：工事品質の確保のため、工事を施工するうえで必要な資格要件等を付した時は、上記の予定価格による区分での運用によらない場合がある。</p>																																			
	<p>● 1 抜け方式による入札の開札方法</p> <p>あらかじめ1 抜け方式の対象となる複数の入札に開札順を決めておき順に開札する。（開札順は、設計金額の高い順とする。）</p> <p>開札順のとおり開札を行い、落札候補者を決定する。その際、1 度落札候補者となった業者は、次以降の入札は辞退扱い（辞退届の提出は不要）とし、落札候補者となることはできない。</p> <p>なお、工事ごとの入札公告に1 抜け方式により実施すると明示していても、最低制限価格以上の応札者が1 抜け方式による辞退扱い者のみとなった場合は、1 抜け方式を実施せず、最低価格（最低制限価格以上、予定価格以下）を提示した業者を落札候補者とする。</p>																																			
	<p>● 1 抜け方式の入札例</p>																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開札順 1</th> <th>開札順 2</th> <th>開札順 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>ガス水道管入替工事 (○○○地内)</td> <td>ガス水道管布設工事 (△△△地内)</td> <td>ガス水道管入替工事 (□□□地内)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>予定価格 4,500,000</td> <td>予定価格 2,800,000</td> <td>予定価格 2,000,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>最低制限価格 4,000,000</td> <td>最低制限価格 2,500,000</td> <td>最低制限価格 1,600,000</td> </tr> <tr> <td>A社</td> <td>4,100,000 落札候補者</td> <td>2,500,000 辞退</td> <td>1,800,000 落札候補者</td> </tr> <tr> <td>B社</td> <td>4,100,000</td> <td>2,500,000 落札候補者</td> <td>1,900,000</td> </tr> <tr> <td>C社</td> <td>4,200,000</td> <td>2,700,000</td> <td>1,400,000 制限価格未満</td> </tr> <tr> <td>D社</td> <td>4,300,000</td> <td>2,000,000 制限価格未満</td> <td>1,500,000 制限価格未満</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>抽選により A社が落札候補者。</td> <td>A社は1 抜け方式により辞退扱い。</td> <td>最低制限価格以上は A、B社で、1 抜け方式による辞退扱い者のみとなるため、1 抜け方式を実施せず、A社が落札候補者。 【1 抜け方式適用外】</td> </tr> </tbody> </table>		開札順 1	開札順 2	開札順 3		ガス水道管入替工事 (○○○地内)	ガス水道管布設工事 (△△△地内)	ガス水道管入替工事 (□□□地内)		予定価格 4,500,000	予定価格 2,800,000	予定価格 2,000,000		最低制限価格 4,000,000	最低制限価格 2,500,000	最低制限価格 1,600,000	A社	4,100,000 落札候補者	2,500,000 辞退	1,800,000 落札候補者	B社	4,100,000	2,500,000 落札候補者	1,900,000	C社	4,200,000	2,700,000	1,400,000 制限価格未満	D社	4,300,000	2,000,000 制限価格未満	1,500,000 制限価格未満	備考	抽選により A社が落札候補者。	A社は1 抜け方式により辞退扱い。
	開札順 1	開札順 2	開札順 3																																	
	ガス水道管入替工事 (○○○地内)	ガス水道管布設工事 (△△△地内)	ガス水道管入替工事 (□□□地内)																																	
	予定価格 4,500,000	予定価格 2,800,000	予定価格 2,000,000																																	
	最低制限価格 4,000,000	最低制限価格 2,500,000	最低制限価格 1,600,000																																	
A社	4,100,000 落札候補者	2,500,000 辞退	1,800,000 落札候補者																																	
B社	4,100,000	2,500,000 落札候補者	1,900,000																																	
C社	4,200,000	2,700,000	1,400,000 制限価格未満																																	
D社	4,300,000	2,000,000 制限価格未満	1,500,000 制限価格未満																																	
備考	抽選により A社が落札候補者。	A社は1 抜け方式により辞退扱い。	最低制限価格以上は A、B社で、1 抜け方式による辞退扱い者のみとなるため、1 抜け方式を実施せず、A社が落札候補者。 【1 抜け方式適用外】																																	

■（参考）水道本支管工事における入札参加資格要件の追加

水道本支管工事における品質の向上と適正な施工を図るため、令和元年6月1日以降の入札公告分から、下記のとおり入札参加資格要件に「配水管技能者要件」を追加しました。

また、令和3年6月1日以降の入札公告分から、下記のとおり「配水管技能者要件」が変更となります。

「配水管技能者要件」の取得には、指定された講習会の受講が必要となります。受講については<各種講習会の詳細について>をご覧ください。

時期	追加内容（配水管技能者要件）
① 令和元年6月1日以降の入札公告分から追加【実施済】	<p>●ダクタイル鋳鉄管の施工を含む水道工事 （公社）日本水道協会の「配水管工技能講習会」を受講し、<u>耐震継手配水管技能者として登録された者が事業所に「1名以上」所属していること。</u></p> <p>●配水用ポリエチレン管の施工を含む水道工事 配水用ポリエチレンパイプシステム協会の「<u>施工技術講習会</u>」を修了した者が事業所に「1名以上」所属していること。</p>
② 令和3年6月1日以降の入札公告分から追加 (①に追加)	<p>●ダクタイル鋳鉄管の施工を含む水道工事 （公社）日本水道協会の「配水管工技能講習会」を受講し、<u>耐震継手配水管技能者として登録された者を配管作業の現場に配置できること。</u></p> <p>●配水用ポリエチレン管の施工を含む水道工事 配水用ポリエチレンパイプシステム協会の「<u>施工技術講習会</u>」を修了した者を配管作業の現場に配置できること。</p>

※ 現在の水道工事の入札参加資格要件である、「給水装置工事主任技術者が1名以上所属していること」については引き続き入札参加資格要件といたします。

※ ガス本支管工事の入札参加資格要件の追加予定はありません。

※ ②の詳細は令和3年1月15日付「配水管技能者要件の運用について」をご覧ください。

<各種講習会の詳細について>

各団体のホームページ等でご確認ください。

	団体名	確認先（ホームページアドレス等）
配水管工技能講習会	（公社）日本水道協会	http://www.jwwa.or.jp/haikan/
施工技術講習会	上越市管工事業協同組合 ※市内で講習会を実施	電話：025-523-8715
	配水用ポリエチレンパイプシステム協会	http://www.politec.gr.jp/

■時限措置

項目	説明
現場代理人の常駐 (兼任) 義務の緩和 措置 【当分の間】	<ul style="list-style-type: none"> ● 施工場所が市内で当初契約金額が1件3,500万円未満の工事について、当初契約金額の合計が7,000万円未満で5件まで兼任を認めます。 <u>ただし、そのうちガス水道本支管工事は2件までとします。</u> ● 当初契約金額が1件3,500万円以上の場合は、対象工事に密接な関係がある工事又は施工に当たり相互に調整を要する工事で、現場の相互の間隔が10km程度以内の場合に限り、2件まで兼任を認めます。 <p>※ 施工内容の難易度等から兼任を認めない場合は、発注時の設計図書等に記載します。</p>

■電子入札の運用方法について

◇入札通知日：原則として火曜日（火曜日が祝日の場合は前日）

◇開札日：入札公告等で指定する日の午前9時以降（同日に複数の案件がある場合は順次開札）

◇契約書の受渡：電子入札システムによる落札決定通知書の送信日以降

（落札者には上越ガス水道局総務課から受渡可能日を連絡する）

◇その他留意事項

※平成27年度から入札時の工事費内訳書の提出が義務化されたことを受け、開札後は落札決定を保留とし、工事費内訳書の点検後に落札決定を行います。（原則として、指名競争入札の場合は開札日の翌日又は翌々日に落札決定の通知書を送信します。）

※一般競争入札の場合は、局の工事費内訳書の点検後に落札候補者に対して入札参加要件の確認資料の提出を求め、入札参加要件確認後、落札決定とします。

【電子入札システムによる指名競争入札の流れ（4月6日通知の場合）】

4月	6日(火)	入札通知日	見積期間10日間（入札参加者） ※入札通知日、開札日、 土日祝日を除く
	7日(水)		
	8日(木)		
	9日(金)		
	10日(土)		
	11日(日)		
	12日(月)		
	13日(火)		
	14日(水)		
	15日(木)		
	16日(金)	入札開始	※入札時に内訳書を添付
	17日(土)		
	18日(日)		
	19日(月)		工事費内訳書の点検（局）
	20日(火)	入札終了	
	21日(水)	開札日（落札決定保留）	
	22日(木)	落札決定日	
	23日(金)	（落札決定日）※案件数が多い場合	